

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成30年12月6日(2018.12.6)

【公開番号】特開2017-116455(P2017-116455A)

【公開日】平成29年6月29日(2017.6.29)

【年通号数】公開・登録公報2017-024

【出願番号】特願2015-253585(P2015-253585)

【国際特許分類】

G 0 1 R 27/02 (2006.01)

【F I】

G 0 1 R 27/02 R

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月24日(2018.10.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

蓄電素子の一例としてキャパシタでは直流内部抵抗(D C I R)がキャパシタ性能を表すパラメータのひとつとして用いられる。このD C I Rは搭載機器の性能を維持する上で極めて重要である。このD C I Rは一定値ではなく、使用状態や使用時間によって劣化する。従って、D C I Rは製造時に測定し、その良否の判定は不可欠であるが、搭載機器の性能を維持する上で搭載時ないし搭載後のD C I R特性の監視が求められている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 7】

差動増幅器 1 0 の非反転入力端子(+)には電圧V d が加えられ、その反転入力端子(-)には電圧V c が加えられる。差動増幅器 1 0 では、これら電圧V d - V c 間の差電圧Vの検出が行われると同時に、この差電圧Vの増幅が行われる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 5】

この実施例においても、差動増幅器 1 0 の非反転入力端子(+)には電圧V d が加えられ、その反転入力端子(-)には電圧V c が加えられる。差動増幅器 1 0 では、これら電圧V d - V c 間の差電圧Vの検出が行われると同時に、この差電圧Vの増幅が行われる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 7 5 】

スイッチ 1 8 を閉じる放電停止時点 t_1 の被測定キャパシタ 4 の電圧 V_c が電圧 V_d として電解コンデンサ 2 2 に保持される。この電圧 V_d が差動増幅器 1 0 の非反転入力端子 (+) に入力される。

【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 図 面

【 補 正 対 象 項 目 名 】 図 1

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【図 1】

